

## 学習年鑑活用クイズ

- \*『朝日ジュニア学習年鑑』学習のためのクイズです。
- \*どんなことが載っているのか確認しながら、興味関心を持ち、これからの学習に役立てていけるようにします。
- \*統計表は調査者、調査年、単位などに気を付けて調べます。

★「朝日ジュニア学習年鑑」（朝日新聞社）で調べられると思うものに○をつけましょう。

項 目	調べられる (○)	項 目	調べられる (○)
売れているコンビニ		無形文化遺産	
名前の由来		歴代総理大臣	
中学生の陸上競技の記録		交通事故の発生状況	
宇宙飛行士の一日の様子		世界のじゃがいもの生産量	
一番魚を食べる国		年間収入と貯蓄高	
各国のくらし		出生率・死亡率	

★「朝日ジュニア学習年鑑」（朝日新聞社）を使って ① ～ ③ を調べてみましょう。

調べる年鑑の発行年 （                      年                      月                      ）

① 「米のとれ高」を調べましょう。

- ・目次からページを探す    統計編    →    日本大図鑑    →    農業    →    米
- ・索引からページを探す    米

① ○○県の米のとれ高を書こう。

	1961年		年	
	面積	とれ高	面積	とれ高
○○県	万 h a	万 t	万 h a	万 t
東京都	1.3 万 h a	2.8 万 t	万 h a	万 t
気付いたこと				

②米の取れ高が1位の都道府県はどこですか。

1961年	年

2 次の項目について 1 番新しい数を調べて書きましょう。

	調べる項目	数量 (単位に気をつけよう)	調査した所	調査した年
例	日本の米のとれ高	798.9 万 t	農林水産省	2015 年
1	日本で一番長い川			
2	世界で一番長い川			
3	日本の発電電力量			
4	日本の小学校数			
5	日本の最大の貿易相手国は	国名： 輸出額 輸入額		

3 〇月には、日本でどんなできごとがありましたか。主な出来事を 2 つ書きましょう。

( ) 年 (〇) 月

1	
2	

【指導者向け解説】

- ・調べられるかの回答は全て〇である。
- ・表紙に書かれているのは発行された年である。右図のものなら、統計資料等は発行年の前年である 2019 年以前のものであることを確認する。
- ・使い方の学習なので発行年が古くても使える。なるべく 1 人 1 冊で学習する。新しい情報が必要な時は最新版を見ることを教える。



- 1 この年鑑では、米の作付け面積・とれ高は、2 つの年について掲載されている。1961 年からの調査なので、何年発行の学習年鑑でも 1 つは 1961 年のデータである。あとの 1 つの年は各自が調べている学習年鑑によって違う。
- ・調べる県は自分の住んでいる県にする。
  - ・気が付いたことの例 ※既習学習内容や学習の目的に応じて、どこまで話し合うかを考えておく。  
作付け面積・取れ高ともに減ってきている。  
作付面積の減り方に比べて取れ高の減り方の割合は少ない(品種改良等生産への工夫)  
作付け面積が減ったのは住宅や工場などの建設による耕作地の減少・お米を食べなくなってきた等が考えられる。

- 3 調べる月は、この学習を行う月にすると、ちょうど何年か前のできごとになる。